

25 journal

society&business Tokyo25 journal
執筆協力 編集室システムU okamura.nobuyoshi@gmail.com

PFAS汚染から命と健康を守る多摩地域市民集会在4月19日、立川相互病院講堂(立川市緑町)で開かれた。「多摩地域をはじめ全国に広がるPFAS汚染で、環境省は水質基準と摂取の許容基準を欧米並みに引き下げるべき」との決議を採択した。PFASは一部の物質が有害とされる有機フッ素化合物。多摩地域のPFAS汚染から命と健康を守る会が主催し、約80人が参加した。はじめに「日本のPFAS汚染・解決すべき課題は何か」をテーマに京都大学名誉教授の小泉昭夫さんが講演した。

「許容基準を欧米並みに引き下げるべき」 PFAS汚染から命と健康を守る多摩地域市民集會を開催



PFASの汚染の実態を知り、早期対策の必要性を学んだ



解決すべき課題を訴える京大名誉教授の小泉さん

小泉さんは全国各地でPFASが検出されていることや、懸念される健康被害などに言及。PFASは体内に長く蓄積され、腎臓がんや肝障害などが懸念される。医療的ケアだけでなく、体内に入ることの軽減やモニタリングなど「社会的処方」の必要性を訴え、汚染源を特定し、除去することが大事だとした。内閣府食品安全委員会が決定した健康影響の評価書について

PFASは航空機火災の消火をする泡消火剤などに含まれていて、横田基地では、長年泡消火剤を使った消火訓練を行っており、泡消火剤が数回漏れ出し、体内に入っていると。多摩東部地域の地下水でPFAS濃度が高いのは、泡消火剤に含まれるPFASが土壌に染み込み地下水に溶け、広がったからと見られる。そのため、地下水を利用した水道水を飲み続けた国分寺市などの住民はPFAS血中濃度が高くなったと考えられる。

では、「暫定指針値が1リットル当たり50ナノグラムの基準は低い。評価書を変える必要がある」とした。決議では、現状では緩すぎる水質基準と摂取の許容基準を欧米並みに引き下げるべきとしたほか、横田基地への立ち入り調査、井戸水・貯水池・土壌の調査実現、多摩地域の地産野菜の安全性と学校給食に使われている野菜の安全性を確認する調査などを行うよう求めている。

集会には複数の国会議員や都議会議員が参加した。立憲民主の大原まさこ衆院議員は「現在の暫定基準値1リットルあたり50ナノグラムのままであることが大問題。小泉さんは環境省が実施した最新のエコチル調査の結果に基づく基準は現在の200分の1になると指摘している。政府は命と健康を守るためのあらゆる施策を総動員すべき」と訴えた。

環境省が全国水質測定 都府県の242地点 国の暫定指針値超え 環境省は4月25日、2023年度に実施した

全国の河川や地下水の水質測定の結果を公表した。PFASは、府県の約2000地点のうち、22都府県の242地点で国の暫定指針値を超えていた。最大値は大阪府摂津市の地下水で、520倍となる1リットル当たり2万6000ナノグラム(ナノは10億分の1)の工場がある。PFASは工場や軍基地、自衛隊施設の周辺で検出される事例が多く、摂津市には世界的な空調設備メーカーの工場がある。



来年3月まで運行予定のラッピング列車

JR東日本八王子支社と五日市線沿線自治体(昭島市、福生市、あきる野市、日の出町、檜原村)は4月26日、五日市線開業100周年記念式典を武蔵五日市駅前の新施設「フレア五日市」で開いた。

JR東日本執行役員八王子支社長、JR東日本拝島営業統括センター所長、沿線自治体の首長らが出席し、節目を祝うとともに来年3月まで運行予定のラッピング列車出発式に臨んだ。

五日市鉄道は1925年4月21日に開通した。拝島駅-武蔵五日市駅間の11.1キロを結び、沿線の経済活性化に大きく貢献した。敷設には当時の五日市町長だった岸忠左衛門や小机三造、内山安兵衛、沼田省太郎らが尽力。浅野セメント、岩浪組などが支援した。講演ではこの歴史を踏まえ多摩川橋梁架設や東秋留付近の切通し開削などの難工事と、関東大震災による資金難を乗り越え、開通したことが紹介された。

かつては首長選挙のたびに公約に挙がった五日市線の複線化だが、今はほぼ耳にしない。西多摩地域広域行政圏協議会(会長・大勢待青梅市長)が毎年、JR東日本八王子支社に出す青梅線、五日市線および八高線にかかる要望書には複線化の早期実現が入っている。だが事務的だ。行政の立場上、有名無実とは言えないだろうが、100周年を祝うだけではなく、現実的な沿線活性化を議論することが望まれないか。(岡村信良)

現実的な沿線活性化議論... (岡村信良)

コンサートでは実行委員の森下晴男さんが作詞、作曲した「五鉄の歌」や「増戸の桜」、キシノヒロシさんの「君に会えた駅」など五日市線に因んだ歌が披露された。乗りのよい「五鉄の歌」、少しセンチメンタルな「君に会えた駅」はいずれも耳に残る名曲だ。講演に先立ち行われた式典では、沿線の首長や議長、都議らが顔をそろえ、祝辞で住民の暮らしを支える五日市線をしっかり守っていくとの決意が相次いだ。

五日市線に因んだ歌が披露された。乗りのよい「五鉄の歌」、少しセンチメンタルな「君に会えた駅」はいずれも耳に残る名曲だ。講演に先立ち行われた式典では、沿線の首長や議長、都議らが顔をそろえ、祝辞で住民の暮らしを支える五日市線をしっかり守っていくとの決意が相次いだ。